

< 自立活動の教材 >

写真	ねらい	使い方
	・ 目と手の協応動作や手指の巧緻性を高める	・ スナップボタンの留め外しをする。
	・ 目と手の協応動作や手指の巧緻性を高める	・ 大きめのボタンで掛け外しの練習をする。
	・ 目と手の協応動作や手指の巧緻性を高める	・ ボタンの掛け外しを机上課題で行う。



- ・目と手の協応動作
や手指の巧緻性を
高める

- ・絵合わせをして、テープで貼
り合わせる。



- ・目と手の協応動作
や手指の巧緻性を
高める

- ・ビーズ通しをする。



- ・目と手の協応動作
や手指の巧緻性を
高める

- ・マークの位置に洗濯ばさみを
留める。

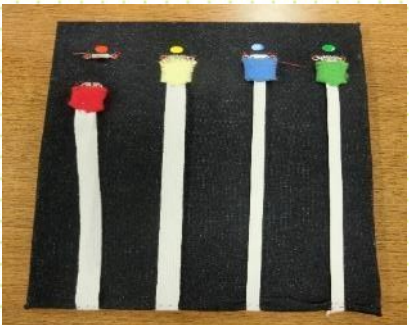


- ・目と手の協応動作
や手指の巧緻性を
高める

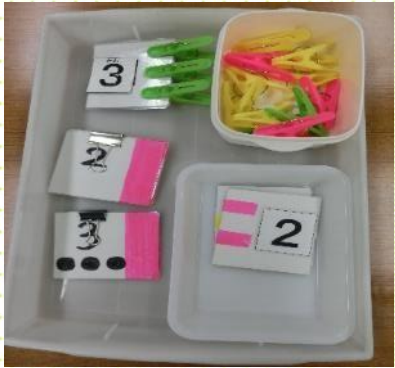
- ・2穴のファイルを綴じる。

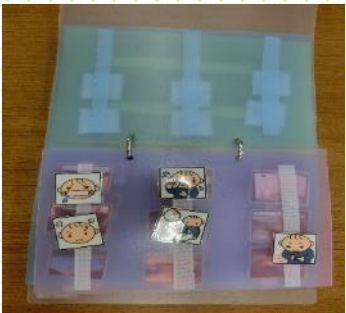
・目と手の協応や手指の巧緻性を高める

	・ 絵のマッチング	・ 3分割のピースの絵合わせをする。
	・ 絵カードの弁別	・ キャラクターのカードを6種類に弁別する。
	・ 色の分類 ・ 蝶結びの練習	・ スナップを付けたり外したりする。 ・ 色のマッチングを行いながらマジックテープを付けたり外したりする。 ・ 違う色の紐を結ぶ。
	・ 目と手の協応や手指の巧緻性を高める	・ 穴に紐を通す。 ・ 風呂敷を広げ、対角線の布を持ち結んでいく。 ・ スナップやボタンを付けた、外したりする。

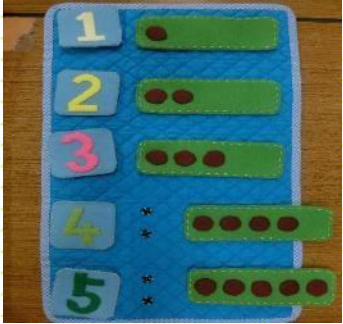
	・目と手の協応や手指の巧緻性を高める ・ボタンの留め外しの練習	・ボタンを留めて、つなげたり、外したりする。
	・目と手の協応や手指の巧緻性を高める ・ボタンホールにボタンを通す練習	・フェルトの中央のボタンホールを開いてボタンを入れて通す。
	・目と手の協応や手指の巧緻性を高める ・かぎホックのしくみの理解 ・かぎホックの練習	・かぎの方に平ゴムをつけ、伸ばしながらホックの輪に引っ掛ける。 ・かぎは持ちやすいようにフェルトをつけているが、引っ掛けることが分かるように頭の金属部分は出しておく。

・目と手の協応や手指の巧緻性を高める

	・蝶結びの練習	・色の違うひもを結んでいく。
	・目と手の協応や手指の巧緻性を高める ・数量概念を養う ・数と色2つの要素を読み取る力を養う (数量概念が育っている児童)	・数字の数だけカードに同じ色の洗濯ばさみをとめる。 ○1段階—印に重ねて ○2段階—ドット数字を参考に ○3段階—数字だけを見て
	・目と手の協応や手指の巧緻性を高める	・ビー玉を1個ずつ×(ばつ)印のところへ落とし入れる。ビー玉が落ちると、容器の中に設置しているベルに当たり音が鳴る。
	・目と手の協応や手指の巧緻性を高める	・6箇所のケースに直径5mm以下の様々なビーズを入れておく。てぐすに1つずつビーズを通していく。

	・目と手の協応や手指の巧緻性を高める ・ひもを通す	・穴にひもを通し、かがり縫いのようにしていく。
		・縦 1 cm、横 3 cm程度の長方形のスティック状の棒をつまみ、容器の穴の中に入れる。容器を縦や横にすることで、棒を入れる向きを変えることができる。
	・目と手の協応や手指の巧緻性を高める ・色の分類 ・果物の色へ意識を向ける	・食べ物のカードに同じ色のクリップをとめる。発語のある児童には、「あかいりんご」「きいろいバナナ」など言いながら取り組む。
	・コミュニケーションの基礎的な力を養う	・自分の要求や予定などを、必要な絵カードを使いながら相手に伝える。(PECS ペクス)

・目と手の協応や手指の巧緻性を高める

	・顔のパーツの名称理解と位置理解	・顔のパーツを1つずつ提示して、名称を一緒に言いながら貼る。慣れてくるとパーツを全部一度に提示して取り組む。
	・目と手の協応や手指の巧緻性を高める ・数量概念を養う	・数字の文字を見て、ドットで同じ数を表している札をスナップでとめる。(ドットを見て、同じ数を表す数字の文字をスナップでとめることも可能)
	・目と手の協応 ・絵のマッチング	・下絵の上に2分割したパズルを置いていく。初めは1ピースずつ手元に提示し、慣れてくると上下左右の向きを変えながら提示したり、2ピースごとに提示したりする。
	・目と手の協応や手指の巧緻性を高める ・輪ゴムをかける練習 ・色の分類 ・数のマッチング	・数字の数だけ、シートの色や文字で示された輪ゴムをシートにかける。

	・目と手の協応や手指の巧緻性を高める ・色の分類	・実態に応じて3～12色の色ペンを同じ色の木筒の中に立てる。
	・目と手の協応や手指の巧緻性を高める ・色の分類	・4色の洗濯ばさみを同じ色のフェルト部分に挟んでいく。
	・目と手の協応や手指の巧緻性を高める ・色の分類	・モールを同じ色のボトルに倒さないように入れていく。モールを入れたら同じ色のボトルの蓋をする。できるようになったモールを曲げて入れるのが難しくなるようにし、難易度を上げていく。

	・目と手の協応や手指の巧緻性を高める ・輪ゴムをかける練習 ・色の分類	・筒と同じ色のところに輪ゴムをかけていく。
	・目と手の協応や手指の巧緻性を高める ・輪ゴムをかける練習 ・色の分類	・トレイの中に入った2～4色混ぜたボタン（大）をそれぞれの容器のテープの色を手がかりに色で分類する。
	・目と手の協応や手指の巧緻性を高める ・色の分類	・同じ色のところにピンを指していく。
	・目と手の協応や手指の巧緻性を高める ・色の分類	・同じ色のカップにピンを入れていく。



- ・裁縫で使う道具の名称を覚え、一人で道具が使えることを目指す

- ・道具の名称を覚えることができるように、学習時に黒板に掲示したり、フラッシュカード的に使用したりする。
- ・手順カードは、作業の手元に置き、確認しながら作業ができるようにする。



- ・一人で玉結びができるようになることを目指す

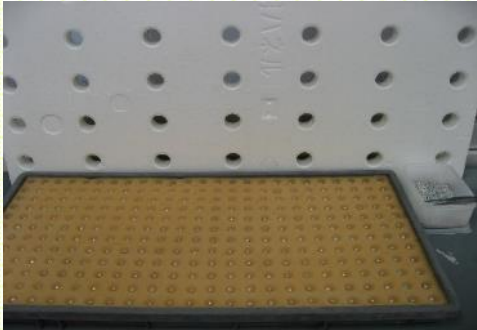
- ・手順カードは、作業の手元に置き、確認しながら作業ができるようにする。
- ・最初は、カードの文と一緒に読み、写真を見ながら作業をする。手順カードの使い方に慣れたら、一人で手順を確認しながら作業をする。



- ・一人で玉どめができるようになることを目指す

- ・手順カードは、作業の手元に置き、確認しながら作業ができるようにする。

	・一人でミシンを安全に正しく使えることを目指す	・手順カードは、作業の手元に置き、確認しながら作業ができるようにする。
	・和紙工芸班の作業の工程を知り、見通しをもって作業に取り組むことを目指す	・意欲をもって作業ができるように、手順（工程）表で説明したり、プリント課題で確認したりする。 ・活動意欲を高めるために、出来上がった数を個人表に表すようにする。
	・手先の巧緻性	・保存容器のふた部分に、十字の切込みを入れたり、穴を開けたりしている。そこから、指先やピンセットを使用してビーズをつまみ中に入れていく。
	・基礎作業能力の習得（ボールペンの組み立ての補助具） ・手先の巧緻性	・片手にボールペンの軸の部分の部品を持ちながら、先軸や後軸、芯、キャップをつけていく。難しい生徒には、固定するための台を使用する。

	・基礎作業能力の習得 (ボルトナットの組み立ての補助具)	・ボルトナットの組み立ては、ナットのねじ込み具合が分かりにくい。そのため、板にボルトの大きさの穴を開け、差し込んで並べることで、検品をしやすいとする。
	・基礎作業能力の習得 (計量の練習教材)	・様々な重さの物ができるように、小石、新聞等をガムテープで包みジャガイモに見立てた。「500 グラム」、「600 グラム」と指定された重さになるように計量し、袋に入れて、シーラーでテープ留する。
	(現場実習事前学習用教材) ・種まき、苗植えの体験練習	・ウレタンマットの小さなくぼみに、決められた数のビーズを入れていく。 ・白い発砲スチロールは、発芽した苗をウレタンマットの切込みから一つひとつ切り離して穴に植え付けていく。